

会 議 録

会議の名称		令和年度第1回翠輝学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和7年6月19日（木）開会 13:30 閉会 15:30		
開催場所		つくば市立翠輝学園みどりの南中学校図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	新関 辰男、岩瀬 和美、植木 純子、牧野 秀宣 友田 つばさ、成嶋 英樹、鴻巣 哲、飯泉 孝司 松本 智加、小山 勇気 谷田部南中学校：校長 高根 香織、教頭 萩原 真人 教務主任 谷山 友香 みどりの南小学校：校長 市村 毅、教頭 原野 智子 教頭 坂 匡浩 教務主任 関口 大輔 みどりの南小学校：校長 野村 光弘、教頭 高橋 正典 教務主任 飯野 健治		
	その他			
	事務局	教育局 次長 柳町 優子 教育局生涯学習推進課 課長補佐 瓜阪 恵理名 教育局生涯学習推進課 主任 和田 丞珠 教育局生涯学習推進課 主事 染谷 彩乃 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	3人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「地域・学校・保護者で育てたい子どもの姿について」		
会議録署名人		確定年月日		

会議次第	1	開会
	2	選任通知書交付及び委嘱状交付
	3	教育長挨拶
	4	説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて
	5	座長・副座長選出
	6	協議
		(1) 学校運営の基本方針について（学校教育活動の紹介含む） (2) 地域と学校の連携事業 予算計画について (3) 熟議テーマ「地域・学校・保護者で育てたい子どもの姿について」
	7	その他 コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について
	8	閉会

<審議内容>

1 開会

瓜阪補佐：令和7年度第1回翠輝学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。

会議を進行するにあたり書記をみどりの南中の飯野委員にお願いします。

→承認

2 選任通知書交付及び委嘱状交付

→ 代表 飯泉委員

地域学校協働活動の委嘱状の交付

瓜阪補佐：別府委員は本日欠席ですが、地域学校協働活動推進員として委嘱されていますので、お名前のみ御紹介いたします。

3 教育長挨拶

・教育局 柳町次長が代読

4 説明事項

・つくば市のコミュニティ・スクールについて（村上社会教育主事）

5 座長・副座長の選出

・事務局案により、谷池座長、鴻巣副座長が選出

→承認

6 協議

(1) 学校運営の基本方針について（学校教育活動の紹介含む）

・グランドデザイン説明 各校校長より

【みどりの南小】

・学校に来ている時間に幸せを実感できる学校を目指す。

【谷田部南小】

・自分たちの学校は自分たちで創るという気持ちを育てたい。

- ・やり抜く力、やる気、やさしい気持ちを育てる。

【みどりの南中】

- ・挑戦する気持ち、変化を恐れない気持ちを育てたい。

(2) 地域と学校の連携事業 予算計画について
各校教頭から説明

(3) 熟議テーマ「地域・学校・保護者で育てたい子どもの姿について」
ファシリテーター 原野委員

グループごとに話し合う。

グループ ①谷田部南小 ②みどりの南小 ③みどりの南中
情報共有及び意見交換 25分アイデアを出し合う、話し合い後、発表

みどりの南中グループ

- ・夢が持てる生徒、思いやりのある生徒、自己肯定感が高い生徒を育てたい。
- ・海外交流をしてほしい、地元盛り上げたい、地元を好きになってほしい。
- ・キャリア教育、シティズンシップ教育、つくばスタイル科、異学年交流等の実施
- ・共育（文科省SCマイスターの言葉）を進める。
- ・グランドデザインをCSでR-PDCAサイクルを回して次回以降につなげる。

みどりの南中グループ

- ・個人、子供たち、学校、地域等の単位で成長をしてほしい。
- ・地域と関わってほしい。
- ・将来的に自己実現に向かって活躍できる生徒（世界進出など）
- ・コミュニティ・スクールで今後も話し合っていきたい。

みどりの南小グループ

- ・前向きで夢や希望があり、みどりの地区が好き、学校が好き、地域に貢献したいと思う児童を育てたい。
- ・新しい地域、コミュニティ、保護者同士の連携が今は希薄な関係であるがCSを通じて今後良くなっていくと良い。

みどりの南小グループ

- ・学ぶことが楽しい、好奇心旺盛、気づく力を身につけさせたい。
- ・課題 クラスでじっとしてられない、授業についていけない。
- ・多様性を認め合える、生きる意欲、自分は自分で良い。
- ・安心して過ごせる環境づくりが大事
- ・CS会議の課題 目標が必要
- ・グランドデザインから一人残らず幸せになれるための具体策を

谷田部南小グループ

- ・学校が楽しいと思える児童を育てたい。

- ・安全に登校でき、主体的に学ぶ中で自己肯定感を高める。
- ・小規模校なのでひとりひとり役割をもって活躍して自己有用感を高めてほしい
- ・学校や地域に愛着をもって将来戻ってきたいと思ってほしい。
- ・ＣＳで自然環境を生かした教育、環境整備、幼稚園とのタイアップ
- ・ありのままでいられる学校、地域になってほしい。

原野委員：学校だけでなく地域の方から子どもたちがこうなってほしいといういろいろな角度から声を聞けて良かった。今後もＣＳで活発な話合いができればと思います。ありがとうございました。

飯泉委員：この活動が伝わるようにしていくことが重要

7 その他

次回開催日

2回 10月21日（火）みどりの南小

3回 2月12日（木）谷田部南小

8 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定

令和7年度第1回翠輝学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和7年6月19日（木）

13：30～15：30

場所：みどりの南中学校 図書室

次 第

1 開 会

2 選任通知書交付及び委嘱状交付

3 教育長挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

5 座長・副座長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について（学校教育活動の紹介含む）

(2) 地域と学校の連携事業 予算計画について

(3) 熟議 テーマ「地域・学校・保護者で育てたい子どもの姿について」

7 その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

8 閉 会

令和7年度 翠輝学園コミュニティ・スクール推進会議
(第1回：6月19日 木曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(1)地域住民	飯泉 孝司	谷田部地区民生委員会長学区（中野、西栗山）担当
2	(2)児童・生徒の保護者	松本 智加	前新設校準備委員
3	(3)地域学校協働活動推進員	別府 孝泰	前新設校準備委員谷田部南小学校PTA会長
4	(4)学識経験者	鴻巣 哲	県南教育事務所主査 前谷田部中学校長
5	(5)各学校長	野村 光弘	みどりの南中校長
6	(6)教職員	高橋 正典	みどりの南中教頭
7	(6)教職員	飯野 健治	みどりの南中教務主任
8	(8)教育委員会が適当と認める者	小山 勇氣	部活動地域移行企業
9	(1)地域住民	牧野 秀宣	民生委員児童委員
10	(2)児童・生徒の保護者	友田 つばさ	保護者会「すいきハッピープロジェクト」代表
11	(4)学識経験者	谷池 真彦	竹園西幼稚園長
12	(5)各学校長	市村 毅	みどりの南小校長
13	(6)教職員	坂 匡浩	みどりの南小教頭
14	(6)教職員	原野 智子	みどりの南小教頭
15	(6)教職員	関口 大輔	みどりの南小教務主任
16	(7)関係行政機関の職員	成嶋 英樹	市こども部こども育成課参事補みどりの南小学校児童クラブ長
17	(1)地域住民	岩瀬 和美	
18	(1)地域住民	新関 辰男	前学校評議員
19	(4)学識経験者	植木 純子	前学校評議員谷田部幼稚園園長
20	(5)各学校長	高根 香織	谷田部南小校長
21	(6)教職員	萩原 真人	谷田部南小教頭
22	(6)教職員	谷山 友香	谷田部南小教務主任
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

翠輝学園

つくば市立みどりの南中学校 グランドデザイン 2025

【翠輝学園 教育目標】

一人残らず、幸せになれる学校

【みどりの南中学校 教育目標】

自立・探究・共生

【つくば市 目指す学園・学校像】

みんなが幸せを実感できる
学園・学校・幼稚園

【本校が求める生徒像】

- 「自立」 自らの可能性を信じ、主体的に学び、未来を切り拓く生徒
- 「探究」 多様な価値観を尊重し、協働しながら、新たな価値を創造する生徒
- 「共生」 地域社会の一員としての自覚を持ち、持続可能な社会に貢献する生徒



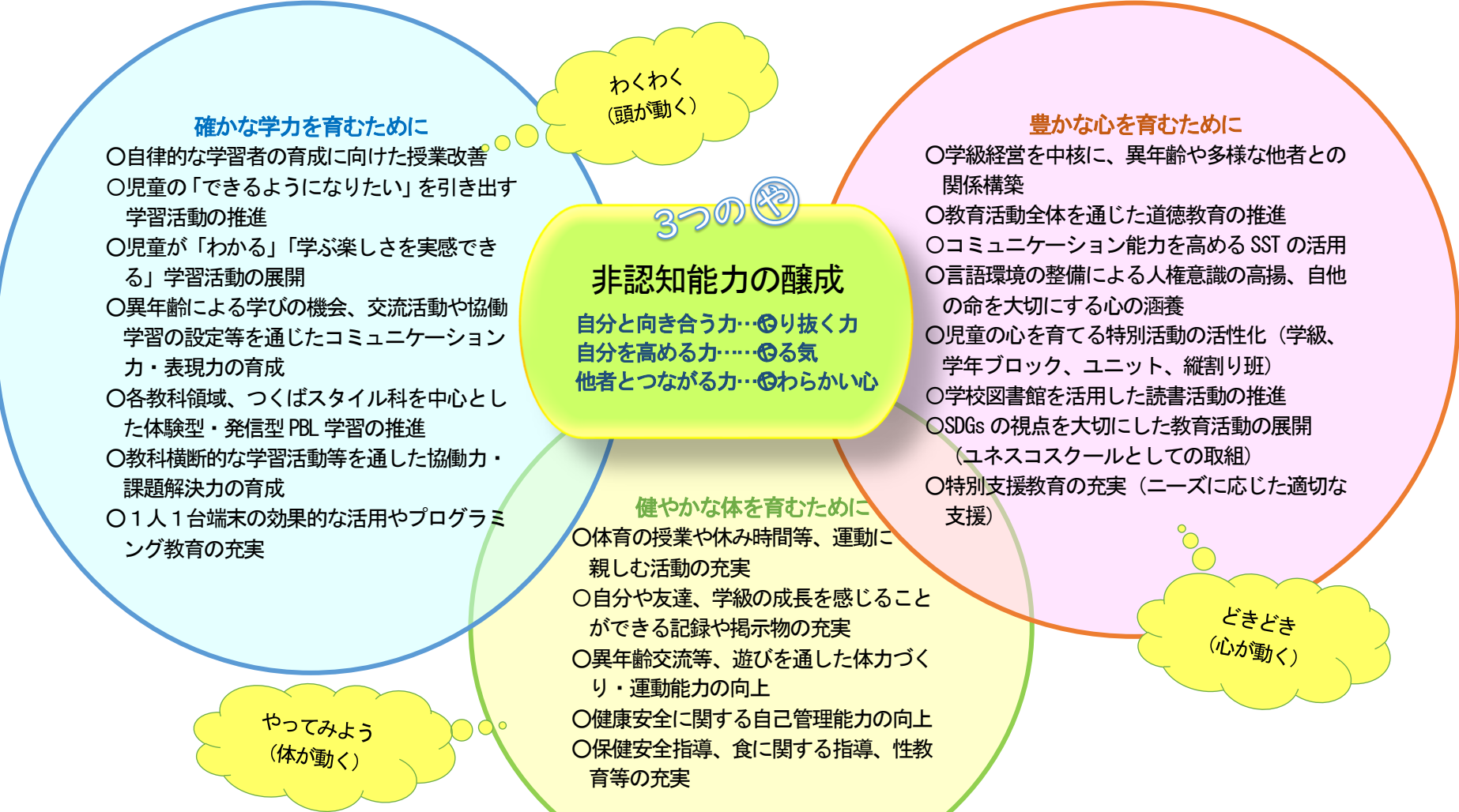
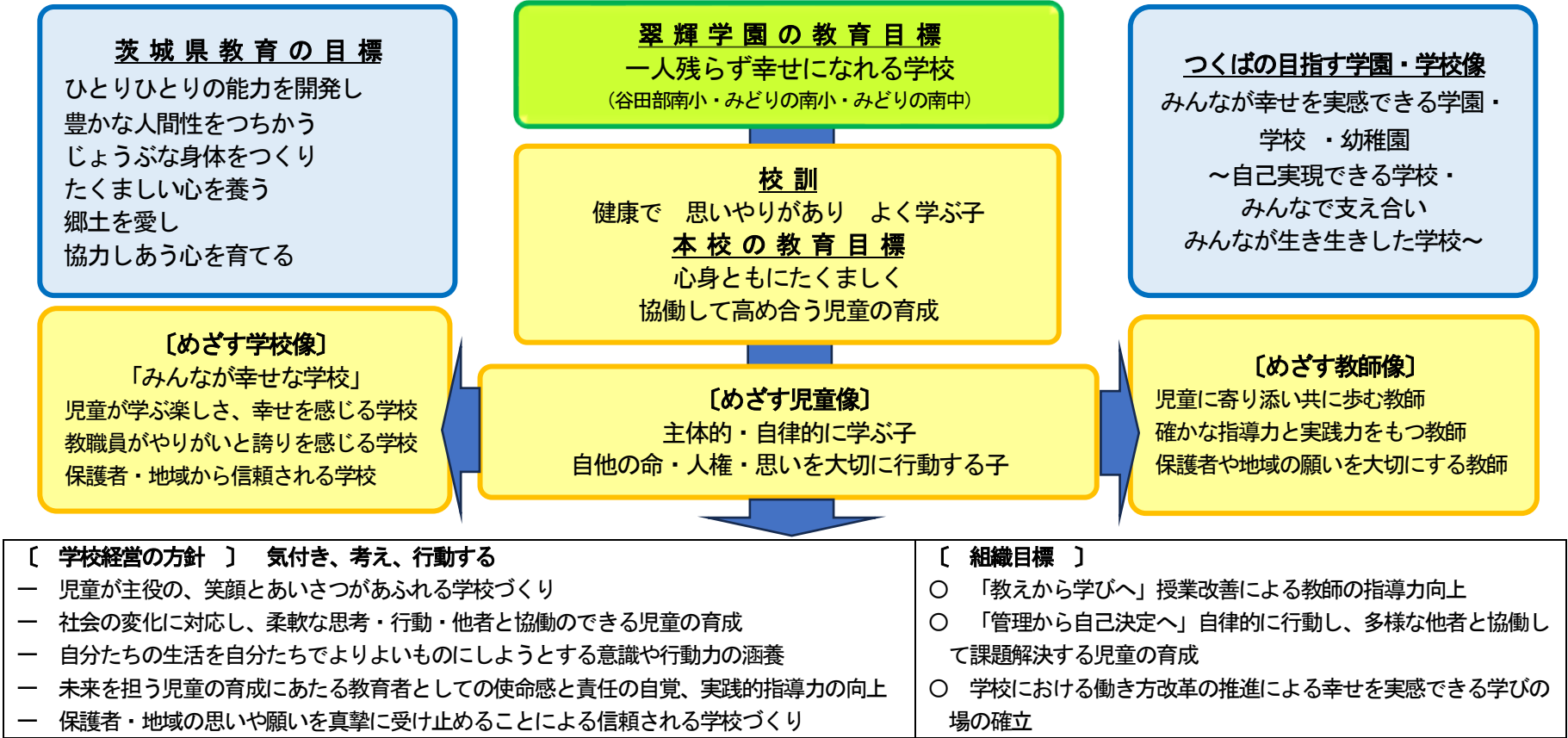
【本校の教育ビジョン】

- 1 多様な学びと挑戦を支援し、自己実現を追求する生徒を育成する。
- 2 教職員の専門性と協働性を高め、教育活動の質を向上させる。
- 3 地域社会との連携を深め、持続可能な地域づくりに貢献する。

【特色ある教育活動】

- ・ 対話的な探究学習（対話型探求学習）の発展【課題解決型探究学習】
- ・ ICT活用による個別最適化学習と協働学習の推進【個別最適な学びと協働的な学びの一体化】
- ・ 地域連携によるキャリア教育プログラムの充実【キャリア教育の充実】
- ・ 地域人材を活用した地域共創型教育プログラムの展開【地域との連携強化】

翠輝学園 つくば市立谷田部南小学校 令和7年度 グランドデザイン



特色ある教育活動パイロット研究推進校（研究指定5年間・3年次）研究主題
イエナプランの理念を取り入れた教育活動の実践研究
～多様な他者との交流を通じた児童の非認知能力の醸成～

自律的な学習者の育成	コミュニケーション力・協働力・表現力の向上	児童による自治的な学校の実現
・「自己形成的な学び」の時間の充実（モジュール） ・カリキュラム・マネジメントによる教科横断的な学びの展開 ・発信型 PBL 学習の推進 ・個別最適な学びの充実 ・探究的・協働的な学びの推進 ・1人1台端末の有効活用・ICT 機器の利活用	・学級や学年ブロック、縦割り班などにおけるサークル対話（互いの顔を見ながら意見を述べ合う） ・異年齢による学びや体験の機会 ・多様な他者を受容、協働 ・自分の思いや考えを簡潔に表現 ・学びの過程や成果をプレゼンテーション、発信	・学級や学年ブロック、縦割り班などを単位とした自主的・自律的な話し合い（サークル対話）や実践行動など 例）わくわくプロジェクト - 学びタイム、ルールメイキング - 児童主体による委員会活動、係活動



令和7年度 みどりの南小学校 グランドデザイン

2nd

【茨城県】

＜学校教育推進の重点＞
「すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり」
・カリキュラム・マネジメントの確立
・未来を拓く学びの展開
・安心して学べる環境の保障

翠輝学園 教育理念(ミッション)

学園教育目標

一人残らず幸せになれる学校
Happy School for All
(A school where everyone can be happy)

【つくば市】

＜市の教育 最上位目標＞
「一人ひとりが
幸せな人生を送ること」
① 教えから学びへ
② 管理から自己決定へ
③ 認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

目指す学校

- ・「安心」と「夢中」がある学校
- ・「つなぐ」を大切にする学校

目指す児童の姿

- ・夢中になって取り組む。
- ・居場所があり、安心できる。
- ・できた、分かった、もっとやってみたいと思える。
- ・ありのままの自分でいられる。
- ・人のためになることを考え、実行できる。

目指す教職員

- ・子供の事実が見える、子供に寄り添える。
- ・専門家として、自ら学び続ける。(自ら求める研修へ)

学校経営ビジョン

【学校経営の重点】

1 小中一貫校の強みを活かす南スタイルの教育課程の創造

- ・開校2年目として小中一貫校の学校教育活動の基盤を創る。
- ・施設一体型・教職員の小中兼務の特性を生かし、9年間のつながりで子供を育てる。

2 「協働的な学び」と「自己決定がある学び」の視点からの授業づくり

- ・「聴く」「教える」を大切にした、ペアやグループ、全体による聴き合い学び合う学びの実現
- ・単元を意識した探究の基礎をつくる学び(学ぶ内容や学び方の選択等)の導入

3 つくばスタイル科における21世紀型能力の育成(特色ある学校づくり)

- ・「SDGsの実現」をテーマとしたカリキュラム・マネジメントによる単元プランの創設
- ・社会とのつながり(連携・協働)を目指したを活かした探究の学びの導入

4 先進的ICTを活用した学びと校務での活用

- ・協働的な学びと個別最適な学びにおけるシームレスな活用
- ・Teams等を活用した校務の効率化と、子供と向き合う時間の確保

5 安全・安心な学校づくりの推進

- ・通学路の安全確保に向けた関係者との連携、安全点検の徹底、リスクマネジメントの徹底
- ・学級・学年経営や授業づくりによる児童の居場所づくり ・「Sルーム」(ハートフルSルーム)の活用

6 働き方改革の推進と人材育成

- ・時間を生み出す工夫による、超過在校等時間45時間以内の達成 ・Plantの活用と自ら求める研修

7 「共に子供を育てる」を活動テーマとする学校支援体制の構築や地域との連携づくり

- ・学校支援組織(保護者会)の運営の基盤づくり
- ・学校運営協議会の発足とコミュニティ・スクールの充実に向けた地域人材の発掘

組織目標

◆「安心」と「夢中」のある教育活動を通して、児童に育成すべき資質・能力を育む。

- 1 一人一人の違いを認め合い、相手をリスペクトし合える集団づくりを通して(自己有用感)
- 2 「聴き合い学び合う学び」と「自己決定がある学び」の視点からの授業づくりを通して(探究とICT活用)

「共に子供を育てる」を活動テーマとする、学校支援組織(保護者会)を核とした学校支援体制の構築

＜学校支援組織「すいきハッピープロジェクト」の運営スタート＞

- 保護者同士のつながりを創り、小中の連携、ボランティアによる支援の充実
- 地域や学校運営協議会委員との密な連携
- 児童生徒が安心して生活できる環境づくり(通学路の安全確保、除草作業、学習支援等)
- 児童生徒が社会とつながり、地域に貢献できる場の設定や活動の協力
- 人材確保、学校だよりの活用等